

6

グリーン購入の推進

6 グリーン購入の推進



☑物品を購入する前に、本当に必要なものか考えていますか？

購入しようとするものが、本当に必要か、今使っているものがまだ使えないか、購入する場合には購入する量を減らすことができないか考えます。

☑物品を購入するときに、「環境を考えて作られたもの」「長く使えるもの」「使い終えたときにごみが少なくなるもの」を選んでいますか？

商品の製造から、流通、使用、廃棄、リサイクルまで、商品のライフサイクル全体で地球環境を考えた取組がなされている環境に配慮した商品を選びます。



●購入する前に、必要なものが十分に考えましょう。

●購入するときは、資源採取から廃棄までの製品ライフサイクル全体で環境に配慮して作られたものを選びましょう。

●環境負荷の低減に努める事業者から製品やサービスを優先して購入しましょう。

●環境負荷の少ない製品等を選ぶために、環境ラベルやデータ集などを上手に活用しましょう。

取組の進め方

■商品カタログやインターネットから情報を得たり、環境ラベルを上手に活用して、できるだけ環境負荷の少ない製品等を選びましょう。

【環境省】グリーン購入法特定調達物品情報提供システム

<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/gpl-db/index.html>

【環境省】環境ラベル等データベース

<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/>

【グリーン購入ネットワーク】GPN エコ商品ねっと

<http://www.gpn.jp/>

グリーン購入とは

物品を調達する際に、まず必要かどうかを考えて、必要な時は品質や価格だけでなく環境のことを考えて、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを選ぶことです。

グリーン購入において参考となる主な環境ラベル

 <p>エコマーク</p>	 <p>国際エネルギー</p>	 <p>省エネラベル制度</p>
<p>(公財)日本環境協会が認定するマークで、「資源採取」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく環境保全に役立つと認められた商品に付けられている。</p>	<p>パソコンなどのオフィス機器について、稼働時、スリープ・オフ時の消費電力に関する基準を満たす商品につけられるマーク。日本、米国のほか、EU等9か国・地域が協力して実施している国際的な制度。経済産業省が運営。</p>	<p>省エネ法により定められた省エネ基準をどの程度達成しているかを表示する制度。省エネ基準を達成している製品には緑色のマークを、達成していない製品には橙色のマークを表示することができる。経済産業省が運営。</p>
 <p>統一省エネラベル</p>	 <p>PETボトルリサイクル推奨マーク</p>	
<p>省エネ法に基づき、小売事業者が省エネ性能の評価や省エネラベル等を表示する制度。それぞれの製品区分における当該製品の省エネ性能の位置づけ等を表示している。経済産業省が運営。</p>	<p>使用済みPETボトルのリサイクル品を使用した商品につけられるマーク。PETボトルメーカーや原料樹脂メーカーの業界団体であるPETボトル協議会が運営する制度。</p>	

グリーン購入法 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」

国等の公的機関が率先して環境物品等（環境負荷低減に資する製品・サービス）の調達を推進するとともに、環境物品等に関する適切な情報提供を促進することにより、需要の転換を図り、持続的発展が可能な社会の構築を推進することを目指しています。また、国等の各機関の取組に関するもののほか、地方公共団体、事業者及び国民の責務などについても定めています。



グリーン購入ネットワーク (GPN)

グリーン購入ネットワークは、1996年に企業、行政機関、民間団体等でグリーン購入を促進するために設立されたネットワークです。グリーン購入に適した商品・資材などについて、データベース『エコ商品ねっと』で検索することができます。

紙 類・文具類

オフィス家具

OA器機



エコマーク



エコマーク



国際エネルギー
スタープログラム
(エネスタ)



エコマーク



JOIFAグリーンマーク



省エネラベリング制度

家電製品

照 明

制 服・作業着



統一省エネラベル



省エネラベリング制度



統一省エネラベル



省エネラベリング制度



エコマーク



エコマーク



PET ボトルリサイ
クル推奨マーク

自動車等



自動車の燃費性能の評価及び公表



低排出ガス車認定



低燃費タイヤ統一マーク